

令和3年3月24日

文部科学省初等中等教育局
教科書課長 神山 弘 殿

新しい歴史教科書をつくる会京都府支部
支部長 岡本幸治

中学校歴史教科書より「従軍慰安婦」の記述削除を要望します

私たち新しい歴史教科書をつくる会京都府支部は、府下中学生が我が国の歴史に対する愛情や国民としての自覚と自己肯定感を持って健やかに成長することを促す教科書を作り、その普及を図る運動をしております。

このたび令和元年度の教科書検定において、山川出版社の中学校歴史教科書に「従軍慰安婦」の記述が復活するという事態が発生したことは、下記のとおり極めて不適切であり、速やかに記述が削除されるべきと考えます。

1. 「いわゆる従軍慰安婦」の含意

「従軍慰安婦」という造語は、「強制連行」と「性奴隷」という扇情的なイメージを付着して、プロパガンダに利用されてきました。しかし既に、長年これを報道し世界に広めた朝日新聞も誤報を認め、政府の調査結果も事実が否定されています。

「いわゆる従軍慰安婦」という表現は、この虚偽のイメージを想起させることとなります。

中学校教科書に掲載すべき用語ではありません。

2. 錯誤誘導の記述

「徴用」「過酷な条件の下で労働強制」という本文記述を受けての補足説明記事であり、虚偽の「強制連行」にミスリードしようとする悪質な記述です。

学習指導要領に照らして、中学校教科書として到底容認されるべき記述ではありません。

このような用語、記述が今後他社教科書に波及することが無いようにするためにも、当該記述を削除させる措置を強く要望いたします。

以上